

第5次犬山市総合計画の策定に向けた

町内会意識調査 報告書

平成21年5月

【調査概要】

- 1 調査の目的 町内会活動を通し、地域により身近に接している町内会関係者の視点から見た、地域の現状や課題を把握し、新たな計画の施策に反映することを目的とします。
- 2 調査の対象 犬山市内の町内会
- 3 調査項目・内容と活用方法

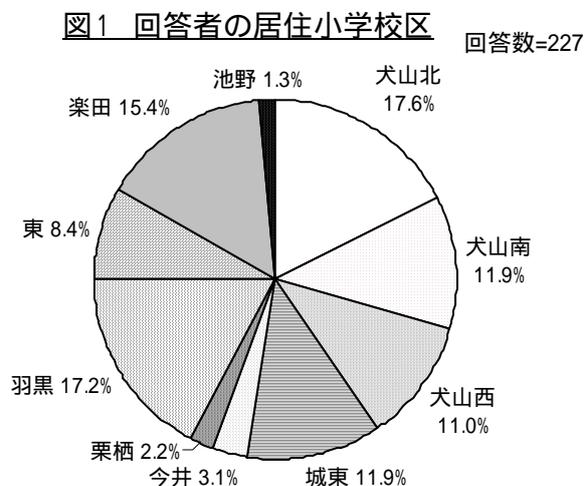
調査項目	調査内容
回答者について	属性として、町内会への加入世帯数、活動地域、現在の活動内容を把握します。
活動上の問題点	町内会活動における問題点を把握します。
地域の問題点・課題	町内会から見た地域の問題点・課題を把握します。
協働のまちづくりに対する意向	町内会等の地域組織との協働の可能性を把握します。
今後取り組みたい地域活動	町内会等の地域組織との協働可能性のある分野を把握します。
市に期待する支援	町内会活動の充実、活性化のために必要な支援策を把握します。
活動の地域単位	今後の町内会等の活動単位（小学校区など）のあり方についての意向を把握します。
自由意見	まちづくりに関する自由な意見・提案を聴取します。

- 4 調査の方法 郵送による配布・回収
- 5 調査期間 平成21年4月22日（水）～5月7日（木）
- 6 回収状況

配布数	315
有効回収数	227
有効回収率	72.1%

設問1 貴町内会が所属する地域についてお答えください。

小学校区	割合	回答数
犬山北小学校区	17.6%	40
犬山南小学校区	11.9%	27
犬山西小学校区	11.0%	25
城東小学校区	11.9%	27
今井小学校区	3.1%	7
栗栖小学校区	2.2%	5
羽黒小学校区	17.2%	39
東小学校区	8.4%	19
楽田小学校区	15.4%	35
池野小学校区	1.3%	3
	100%	227

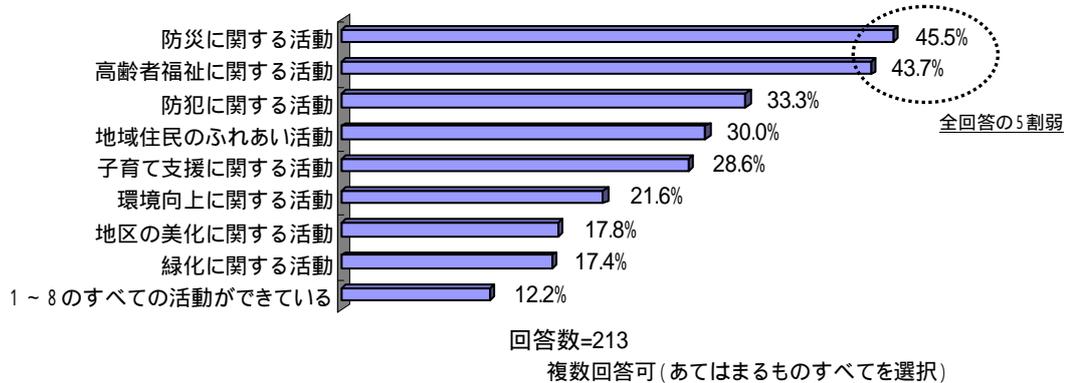


設問2 貴町内会において、他の町内会や団体と合同で行っている取組みも含め十分な取組みができていないと思う活動はありますか。
あてはまるものすべてを回答

選択肢	割合	回答数
防犯に関する活動	33.3%	71
防災に関する活動	45.5%	97
子育て支援に関する活動	28.6%	61
高齢者福祉に関する活動	43.7%	93
地区の美化に関する活動	17.8%	38
緑化に関する活動	17.4%	37
環境向上に関する活動	21.6%	46
地域住民のふれあい活動	30.0%	64
1～8のすべての活動ができています	12.2%	26

表2 十分な取組みができていないと思う活動（選択肢順）

図2 十分な取組みができていないと思う活動



「防災に関する活動」、「高齢者福祉に関する活動」が不十分であると回答した町内会が全体の約5割弱でした。

また、45の町内会で、この両方の活動が不十分であると感じており、その割合は、全有効回答数の21.1%にのびます。

校區別で見ても、ほとんどの小学校区で「防災に関する活動」、「高齢者福祉に関する活動」のいずれか、又は両方について不十分であるとする回答が多かった一方で、犬山東小学校区では「地域住民のふれあい活動」を、楽田小学校区では「環境向上に関する活動」を上げる町内会が多い傾向でした。

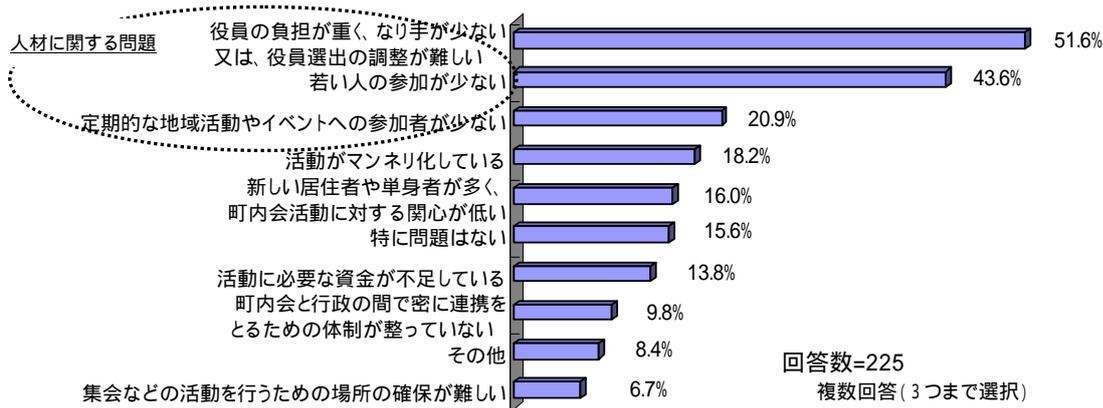
設問3 町内会の活動を行う上での、問題点はありますか。

あてはまるもの3つまで回答

選択肢	割合	回答数
定期的な地域活動やイベントへの参加者が少ない	20.9%	47
若い人の参加が少ない	43.6%	98
役員の負担が重く、なり手が少ない又は、役員選出の調整が難しい	51.6%	116
新しい居住者や単身者が多く、町内会活動に対する関心が低い	16.0%	36
活動がマンネリ化している	18.2%	41
活動に必要な資金が不足している	13.8%	31
集会などの活動を行うための場所の確保が難しい	6.7%	15
町内会と行政の間で密に連携をとるための体制が整っていない	9.8%	22
その他	8.4%	19
特に問題はない	15.6%	35

表3 町内会の活動を行う上での問題点（選択肢順）

図3 町内会の活動を行う上での問題点



【「その他」で回答された主な意見】

- ・住民が高齢化していて活動が困難である(負担が大きくなってきている)。
- ・少人数の町内会では活動が難しい。
- ・町内会内でのゴミ捨て場などのローテーションが守られていない。
- ・役員を半強制的に任せられる。
- ・保守的な風土が強く、慣習や伝統にとらわれている。
- ・神社の維持が、金銭面・人材面で負担になっている。
- ・活動に対する資金不足である。
- ・町内会未加入者との情報伝達、意思疎通が難しい。

活動内容自体に関する選択肢でなく、各町内会での運営体制に関わる「役員の負担が重く、なり手が少ない、又は、役員選出の調整が難しい」と回答した町内会が最も多く、半数を超えました。

続いて多かった回答は、「若い人の参加が少ない」(43.6%)、「定期的な地域活動やイベントへの参加者が少ない」(20.9%)で、いずれも活動に携わる人材に伴う問題を抱えていることがわかります。

なお、この傾向はすべての校区で同様で、いずれの校区においても「役員の負担が重く、なり手が少ない、又は、役員選出の調整が難しい」、「若い人の参加が少ない」が問題点の上位2つにあげられています。

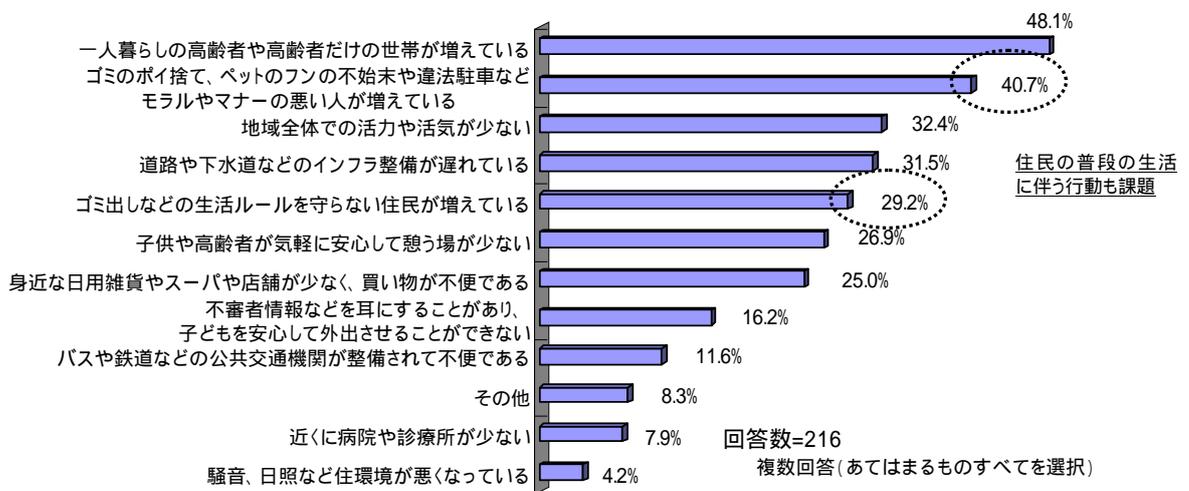
設問4 現在、町内会や周辺地域で、問題・課題となっていると感じることはありますか。

あてはまるものすべてを回答

選択肢	割合	回答数
地域全体での活力や活気が少ない	32.4%	70
一人暮らしの高齢者や高齢者だけの世帯が増えている	48.1%	104
不審者情報などを耳にすることがあり、子どもを安心して外出させることができない	16.2%	35
道路や下水道などのインフラ整備が遅れている	31.5%	68
バスや鉄道などの公共交通機関が整備されて不便である	11.6%	25
近くに病院や診療所が少ない	7.9%	17
身近な日用雑貨やスーパーや店舗が少なく、買い物が不便である	25.0%	54
ゴミ出しなどの生活ルールを守らない住民が増えている	29.2%	63
子供や高齢者が気軽に安心して憩う場が少ない	26.9%	58
騒音、日照など住環境が悪くなっている	4.2%	9
ゴミのポイ捨て、ペットのフンの不始末や違法駐車などモラルやマナーの悪い人が増えている	40.7%	88
その他	8.3%	18

表4 町内会や周辺地域で、問題・課題となっていると感じること（選択肢順）

図4 町内会や周辺地域で、問題・課題となっていると感じること



【「その他」で回答された主な意見】

- ・ゴミの不法投棄(ポイ捨て含む)だけでなく、他の地区、市からゴミを捨てていく。
- ・周辺道路の交通量が多い、車のマナー(違法駐車含む)が悪い。
- ・野生動物による農作物被害がある。

設問3「町内会の活動を行う上での問題点」と同様に、地区住民の高齢化が課題であると回答した町内会が半数近くありました。

また、「ゴミのポイ捨て、ペットのフンの不始末や違法駐車などモラルやマナーの悪い人が多い」(40.7%)、「ゴミ出しなどの生活ルールを守らない住民が増えている」(29.2%)というように、地区住民の普段、日常の身の回りの生活に伴う行動に対する問題、課題を多くの町内会で抱えているのがわかります。

その他、校区别で見ると、「道路や下水道などのインフラ整備が遅れている」と東小学校区(42.1%)、「地域全体での活力や活気が少ない」と犬山北(37.5%)、犬山西(42.9%)、今井(57.1%)が高い割合を占めています。

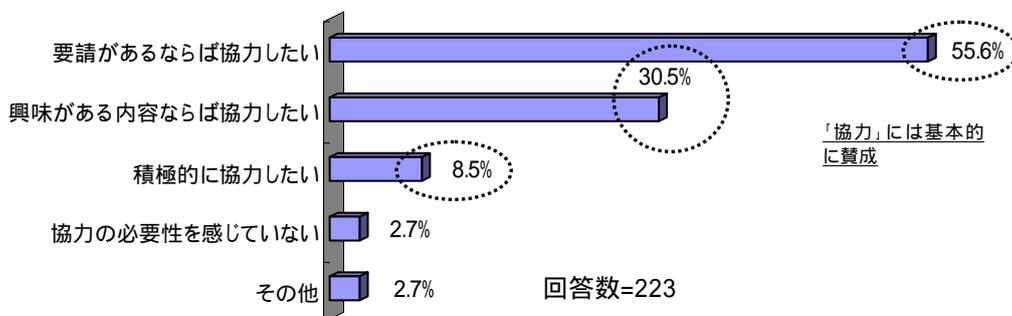
設問5 今後、行政と協働して地域活動を行うことについてどのように考えますか。

あてはまるもの1つを回答

選択肢	割合	回答数
積極的に協力したい	8.5%	19
要請があるならば協力したい	55.6%	124
興味がある内容ならば協力したい	30.5%	68
協力の必要性を感じていない	2.7%	6
その他	2.7%	6

表5 行政と共同して地域活動を行うことについてどう考えるか（選択肢順）

図5 行政と共同して地域活動を行うことについてどう考えるか



【「その他」で回答された主な意見】

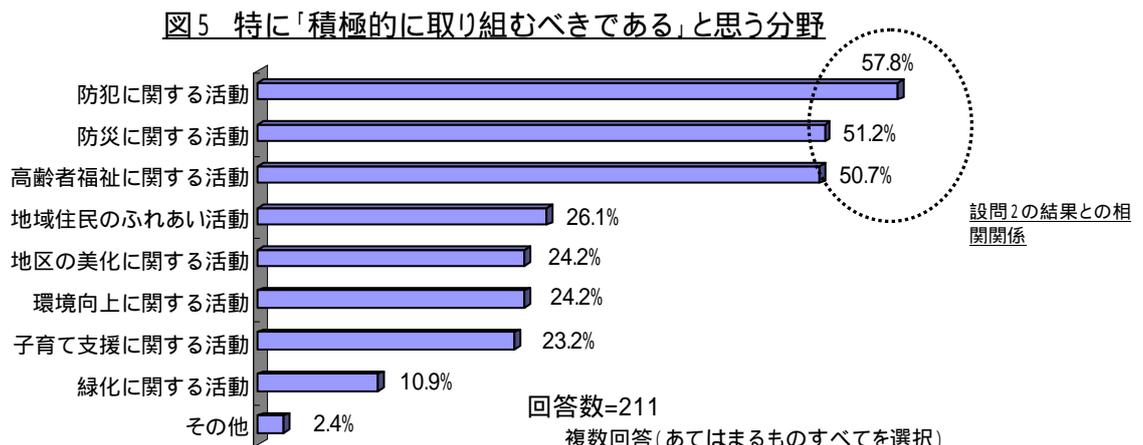
- ・できる限りやりたくない。
- ・忙しくて時間がない。
- ・子供が学生の場合、活動に参加する時間がない。
- ・町内会と地域コミュニティ協議会のあり方を見直すべき。
- ・要請には協力するが、決定従うだけでは協働ではない。

基本的に行政との協働に「賛成」と回答した町内会は、9割を超えています。ただし、「要請があるならば協力したい」（55.6%）、「興味がある内容ならば協力したい」（30.5%）との回答が多く、中には、「行政からの一方的な依頼にしたがうだけは、協働ではない」との意見もありました。

設問5 - 1 設問5で「協力したい」と回答した方の中で、特に「積極的に取り組むべきである」と思う地域活動の分野は何ですか。
 あてはまるものすべてを回答

選択肢	割合	回答数
防犯に関する活動	57.8%	122
防災に関する活動	51.2%	108
子育て支援に関する活動	23.2%	49
高齢者福祉に関する活動	50.7%	107
地区の美化に関する活動	24.2%	51
緑化に関する活動	10.9%	23
環境向上に関する活動	24.2%	51
地域住民のふれあい活動	26.1%	55
その他	2.4%	5

表5 - 1 特に「積極的に取り組むべきである」と思う分野（選択肢順）



【「その他」で回答された主な意見】

- ・交通安全に関する活動(渋滞緩和、道路拡幅など)
- ・子育て支援としてのコミュニケーションの場(ボランティアの機会)
- ・高齢者の一人世帯の増加に伴う自治体の取り組み

回答割合が半数を超えている「防犯に関する活動」、「防災に関する活動」、「高齢者福祉に関する活動」については、設問2「十分な取組みができていないと思う活動」の上位を占める選択肢でした。

こうしたことから、町内会活動として不十分であると感じている活動については、行政との協働が必要である」と感じていることとなります。

回答した全ての町内会のうち、189(87.2%)の町内会が、この3つのいずれかの活動について積極的に取り組むべきであると回答しています。

その他の傾向をみると城東、東の各小学校区で「地域住民のふれあい活動」、楽田小学校区で「環境向上に関する活動」に対し、4割を超える回答がありました。

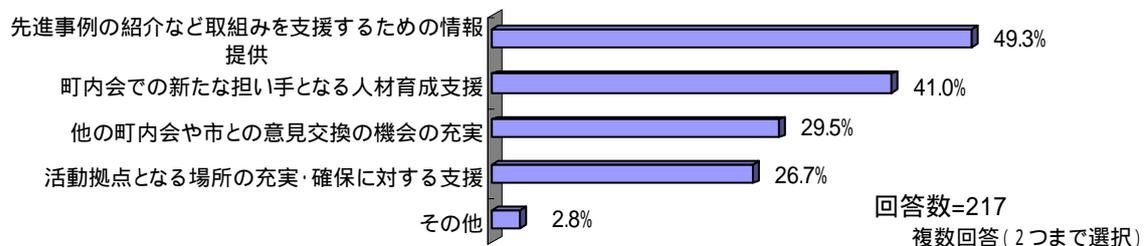
設問6 今後の活動の充実、活性化のために、行政に期待する支援は何ですか。

あてはまるもの2つまで回答

選択肢	割合	回答数
他の町内会や市との意見交換の機会の充実	29.5%	64
活動拠点となる場所の充実・確保に対する支援	26.7%	58
先進事例の紹介など取組みを支援するための情報提供	49.3%	107
町内会での新たな担い手となる人材育成支援	41.0%	89
その他	2.8%	6

表6 今後の活動の充実、活性化のために行政に期待する支援（選択肢順）

図6 今後の活動の充実、活性化のために行政に期待する支援



【「その他」で回答された主な意見】

- ・すべての事柄に対して本当に困ったときの対応
- ・活動、町内施設の施設整備に伴う資金援助
- ・町内会長をはじめとする役員の負担軽減
- ・町内会だけでなく、地区住民全体での活動拠点、集合場所の整備

約半数の町内会が、「先進事例の紹介など取組みを支援するための情報提供」を期待すると回答しています。ただ、自由意見の中では、「市の現状を把握した上での情報提供」、「犬山市にとどまらず他の自治体の先進事例を希望する」など、その内容、方法について具体的な提案もありました。

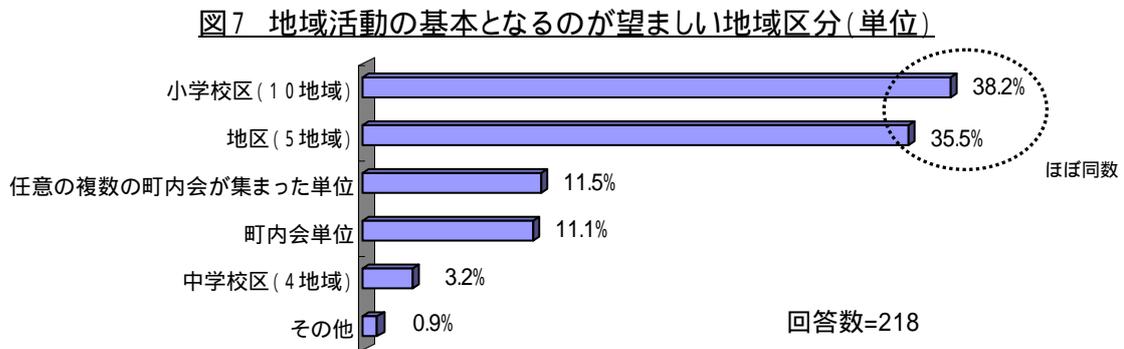
いずれの小学校区においても、ほとんどが情報提供という形での支援を期待する回答が多かったものの、犬山西小学校区においては、「町内会での新たな担い手となる人材育成支援」を期待する町内会の割合が著しく多く（71.4%）、また、今井、東小学校区では「活動拠点となる場所の充実・確保に対する支援」を期待する町内会の割合が他の小学校区に比べて多い傾向にあります。その他、町内会単位でなく、地区住民全体規模での確保・充実を期待する意見もありました。

設問7 地域活動を行う上で、活動の基本となる地域区分の考え方として、どのような『地域単位』を基本とすることが望ましいと思いますか。

あてはまるもの1つを回答

選択肢	割合	回答数
地区〔犬山・羽黒・楽田・城東・池野に区分する5地域〕	35.5%	77
中学校区〔市内中学校の学校区で区分する4地域〕	3.2%	7
小学校区〔市内小学校の学校区で区分する10地域〕	38.2%	83
任意の複数の町内会が集まった単位	11.5%	25
町内会単位	11.1%	24
その他	0.9%	2

表7 地域活動の基本となるのが望ましい地域区分（選択肢順）



【「その他」で回答された主な意見】

・小学校区単位が基本だと思うが、10年先の地区別の人口構成も考慮すべきである。

「小学校区（10地域）」又は「地区（5地域）」のいずれかを選択した町内会が併せて7割を超える結果となりました。

校区別での内訳を見てみると、8つの小学校区で、「小学校区」との回答割合が最も高かった一方で、既存のコミュニティ協議会有る城東、羽黒、楽田の各小学校区では、「地区」と回答した町内会の最も高い割合を占めました。

3つの小学校区で「地区」と回答した町内会の数・割合

城東小学校区 10 町内会・37.0%

羽黒小学校区 22 町内会・56.4%

楽田小学校区 16 町内会・46.7%

（ただし、城東小学校区は、「小学校区」と「地区」が同数（同割合））